

Landmark Project V

Dates: August 1 - November 3, 2014

※全て無料でご観覧いただけます。※観覧時間・休日は施設により異なります。

主催: BankART1929、2014年東アジア文化都市実行委員会

協力: 森ビル株式会社、馬車道商店街協同組合、馬車道商栄ビル管理組合、神奈川県、公益社団法人かながわ住まいまちづくり協会、
横浜市開港記念会館、桜木町びおシティー、東神工芸株式会社、他

Akinori Matsumoto Yokohama City Hall 1F

Koji Sekimoto Bashamichi Shoei Biru

Koske Kawase Kanagawa Prefectural Office Building

Ryuji Miyamoto Kitanaka-dori North district

Miyako Ishiuchi Kitanaka-dori North district (Former Teisan Warehouse)

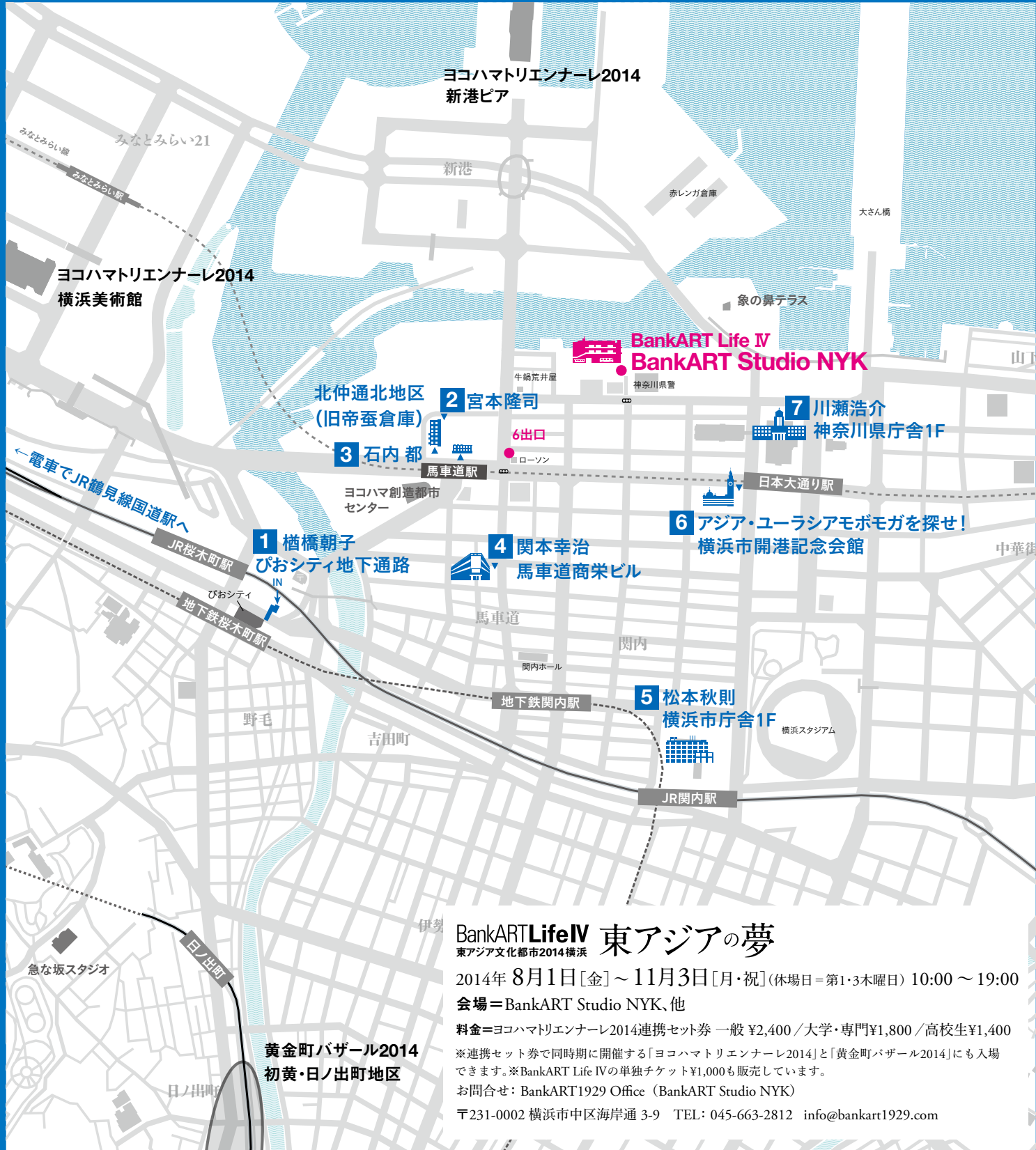
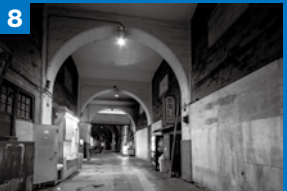
Asako Narahashi Pio City Underground Passage

Hotaro Koyama Kokudo Station of Tsurumi Line

Searching for Moba and Moga Asia-eurasia edition Yokohama City Port Opening Memorial Hall

Landmark Project V

都市の中で忘れられている空間や眠っている空間、歴史的建造物にアートを挿入し、その場所のポテンシャルを探るプロジェクト



1 ぴおシティ地下通路

槇橋朝子

水面とも水中ともいえない境界線から風景をとらえた大岡川。国道16号線をまたぐ通路の両側に展開。

ならはしあさこ | 1959年、東京生まれ。
 早稲田大学第二文学部卒業。80年代半ば
 に写真家として活動を開始。水の側から陸
 に向かって撮影された写真をまとめた写
 真集『half awake and half asleep in
 the water』刊行を機に欧米でも注目を集
 め、日本現代写真を代表する作家として
 高い評価を得ている。国内外で個展開催・
 グループ展参加多数。

2014年8月1日(金)～11月3日(月)

9:00~16:00

◎休館日:8.25①、9.22①、10.27①



5 横浜市庁舎1F

松本秋則

「バンブーフォノガーデン」
市庁舎のホールに音を奏でる竹林
が出現。心地よい竹の音子の連鎖

まつもとあきのり | 1982年頃より、竹な
どを使ったサウンドオブジェの創作を続け
ている。1992年、五島記念文化財団の助
成で、1年半アジア7ヶ国で少数民族の芸
能を研究。第9回バングラディッシュ・ア
ジア・アートビエンナーレでグランプリを受賞
瀬戸内国際芸術祭2010への参加等、国
際展にも多数出品。現在、BankARTのス
タジオに長期スタジオインしている。

8月1日(金)～10月31日(金) (土日祝のぞく)
8:45～17:15



2 北仲通北再開発地区空き地

宮本隆司

現在、氏が故郷徳之島で行なっているプロジェクトと交通

みやもとりゅうじ | 1947年東京生まれ。
73年多摩美術大学グラフィックデザイン
科卒業。89年第14回木村伊兵衛写真賞
受賞。91年ACC奨学金を得てニューヨーク
滞在。96年第6回ヴェネチア・ビエン
ナーレ建築賞金獅子賞、99年第11回写
真の会賞、2005年第55回芸術選奨文部
科学大臣賞、第12回日本文化藝術振興
賞受賞。建築空間を題材にした独自の作
風は国際的にも評価が高く、各地で撮影、
発表を続けている。



6 横浜市開港記念会館

アジア・ユーラシア モボモガを探せ!

1917年ごろから戦前迄、西欧文化を進取の気性で取り込んでいったモダンボーイモダンガール。2004年に「横濱モボモガを探せ!」からスタートし、2007年には「開港5都市モボモガを探せ!」へ展開し、ひとまず終了。今年からはユーラシア・モボモガを探せ!に突入。上海、ウラジオストック、ハルビンへ。

2014年8月1日(金)～11月3日(月)

9:00~16:00

休館日:8.25(月)、9.22(月)、10.27(月)



3 北仲通北再開発地区(旧帝蚕倉庫)

石内 都

「絹の夢」日本の近代の礎を築いた絹。横浜港と帝蚕試験所はその中心にあった

いしうちみやこ | 群馬県桐生市生まれ。
1970年代後半から写真を始める。初期3
部作で街の匂い、気配、空気を捉えた作
品を発表。同じ年生まれの女性の手と足
を収めた作品以降、身体の傷跡を写した
シリーズを展開。「Mother's 2000-2005
未来の刻印」でヴェネツィア・ビエンナーレ
美術展の第51回日本館代表。2007年に
スタートした「ひろしま」は現在も継続し
ている。2012年には、大正・昭和に流行し
た着物・銘仙を撮った「絹の夢」を発表。
2013年には写真集「Frida by Ishiuchi」
を出版。2014年、日本人として3人目とな
るハッセルブラッド国際写真賞を受賞。
「写真という布を編む」写真家として高い
評価を受けた。



7 神奈川県庁舎1F

川瀬浩介

名作「Long Autumn Sweet Thing」
が1928年竣工の建物の古い石の
空間と反応する

かわせこうすけ | 作曲家・美術家。CMの作曲家としてキャリアをスタートさせ、2002年、音と光を用いた作品を発表し、美術家としてデビュー。以来、表現形態を問わず、「間口が広く興行きのあるもの」を追求している。2009年度には、代表作《ベアリング・グロウアップ II》が、第13回文化庁メディア芸術祭 アート部門・審査委員会推薦作品に選出された。

8月1日(金)～10月31日(金) (土日祝のぞく)

8:30~17:15

本庁舎公開日(10:00~16:00) 8.3(日)、8.16(土)、
8.17(日)、9.14(日)、9.23(火)、10.12(日)、10.19(日)



4 馬車道商栄ビル壁面

関本幸治

「下岡蓮枝現れる」
日本で最初の写真館があったとされる馬車道。140年を経て、関本写真師の女性群像（フィギア等全て制作物）が、防火対建築壁面に
せきもとこうじ | 1969年神戸市生まれ。
1994年愛知県立芸術大学大学院油絵専攻修了後、渡独。ケルンにスタジオを構え2003年帰国。現在横浜・黄金町にスタジオを構え国内外で活動中。被写体、撮影セットを制作し、大判カメラを使って「人の心の微震」を絵画的に映し撮る写真家。



8 鶴見線国道駅

小山穂太郎

**JR 鶴見線の構内の壁面に怒濤の
海の写真群が新たな表情を与える**

こやまほたるう | 1955年東京武蔵野市生まれ。87年に東京芸術大学美術研究科博士課程満期退学。87年「現代美術になった写真」（栃木県立美術館）、90年「移行するイメージ」（京都近代美術館）など、写真・映像を主に用いて創作活動を展開し、94-95年には文化庁在外研修でフランスに滞在。2002年個展「Phantom」（栃木県立美術館）現在は、日常の場で時間とイメージの想起を探索するという考えの基、イメージを生成する媒体を主に用いて創作活動を進めている。

JR 鶴見線国道駅へのアクセス

横浜市鶴見区生麦 5-12-14

JR 桜木町（京浜東北線）→鶴見駅（鶴見線）→国道駅（桜木町駅より電車で約18分）

